

令和2年度 国立中央青少年交流の家

# オープンハウス2020

～SDGsフェスタ～

令和2年10月25日(日)

主催:静岡県「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会

共催:オープンハウス2020実行委員会



## 〇趣旨

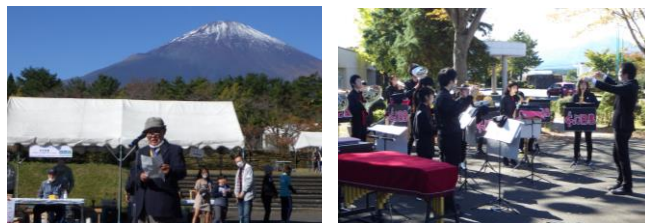
当交流の家の活動プログラムをはじめとした様々な体験活動を通して、体験活動の楽しさを体感し、体験活動の重要性の普及と当交流の家の周知を図る。

また、「SDGs」をキーワードに据え、SDGsに取り組む団体の取組情報の発信と交流の機会とすることにより、SDGsの啓発に寄与するとともに、関係団体とのパートナーシップを一層推進し、地域から広く必要とされる施設づくりの一環とする。

## 〇活動内容

### 【オープンハウス2020 開会宣言】

オープンハウス2020実行委員長根上真一氏による「開会宣言」がおこなわれ、御殿場南高校吹奏楽部のファンファーレによりオープンハウス2020がスタートした。



### 【フードドライブ&衣料品回収】

受付ブースにて、各家庭で余っている食料品や、使わなくなった衣料品の回収を行った。たくさんの協力が得られ、回収した食料品41.7kgは「NPO法人フードバンクふじのくに」様へ、衣料品308.2kgは「NPO法人エコハウス御殿場」様へ寄贈し、ご活用いただくことにした。



### 【体験活動とSDGs】

体験活動を提供する団体や、その活動と、SDGsとの繋がりを明示したことで、体験提供者・来場者ともにSDGsを身近なものに感じながら、体験活動を楽しんだ。

- ・竹スピーカー製作体験
- ・缶バッジづくり
- ・バスボムづくり
- ・すべラップづくり
- ・はしづくり
- ・木工体験
- ・茶道体験
- ・地域課題研究発表
- ・小動物とのふれあい体験
- ・自衛隊車両装備品展示
- ・グラウンドゴルフ体験
- ・遊びリンピック
- ・キックターゲット
- ・未来への手紙
- ・吹奏楽演奏
- ・ハーバリウム製作体験
- ・焼き板体験
- ・アロマクラフト体験
- ・ミッションオリエンテーリング
- ・紙飛行機で科学しよう
- ・コサージュづくり
- ・ドローン飛行体験
- ・キャンプ富士と交流しよう
- ・ガールスカウト情報発信
- ・ドラム缶を使ったピザづくり体験
- ・伊豆半島ジオパークすごろく 等



## 【SDGsマルシェの開催】

SDGsに繋がる商品を集めたマルシェも、多くの人で賑わった。なかには、出展者に対してSDGsとの関りを訊ねる来場者もいて、「SDGsを考慮して商品選択する」という体験の機会になっていた。

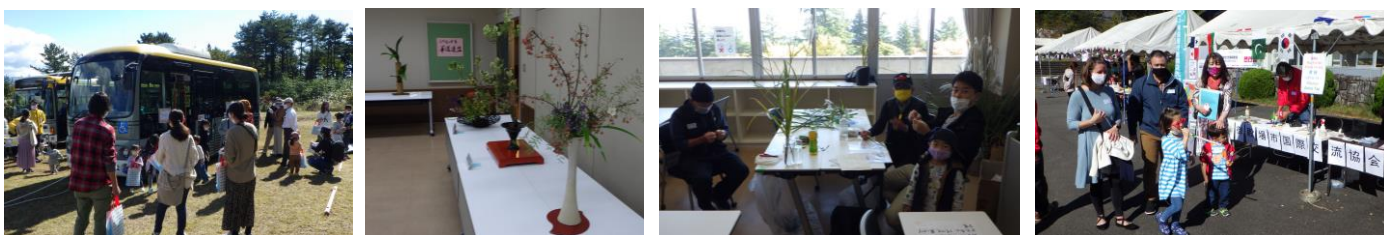
- ・『遊休荒廃地の改善』水かけつぼみ菜、紅はるかの焼き芋 等
- ・『放置竹林の解消』サクサクメンマ ・『間伐材の使用』ベンチ、イス、木皿 等
- ・『ハンディキャップを持った方々が製作』焼き菓子、縫製品 等
- ・『こだわりぬいた生産、本物の味』旬野菜、天然蜂蜜 等
- ・『地域活性化へ～高校生の商品開発』

御殿場こめこ弁当、生どら焼き、すそのまんじゅう、ファイゴンクッキー、泉ちゃんゼリー、熱海レモンスコーン、大地のジオパン 等



## 【御殿場市とのコラボ企画】

- ・「御殿場市地域公共交通協議会」とのコラボ企画『GOTEMBA BUS FES』開催
- ・「御殿場市華道連盟」による『華道作品』情報発信
- ・「御殿場市ボランティア連絡協議会」による『秋を感じる工作』体験
- ・「御殿場市国際交流協会」による『国際交流』『異文化体験』情報発信



## 【シトラスリボンプロジェクトへの賛同】

新型コロナウイルスによる差別や偏見を解消し、思いやりの心の輪を広げることを目指して、シトラスリボンプロジェクトへの賛同を表明するとともに、賛同者はシトラスリボンのマークが入った缶バッジを身に付けて活動した。



## 〇まとめ

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの体験活動の機会が失われていた。こうした社会情勢の中で、可能な限りの感染防止対策（名簿の提出、パスポートシールを用いて各体験ブースで来場者を記録、換気・消毒タイムの設定 など）を講じ、多くの方々のご理解・ご協力を得て、これまでとは違う新しい生活様式を踏まえた体験活動の機会を提供できたことは、施設開放事業を実施する際のモデルケースとなると考えている。

また、今回は「SDGsフェスタ」と題して、体験活動とSDGsの繋がりを示したことで、その認知度を高め、地域と共に考える機会とすることができた。

今年は縮小規模で行うため、高校生の出展団体の数も昨年より減らして開催したが、来年度は特色ある活動をしている青少年の「情報発信」の場として、また、「探究的な学び」を行っている高校生の「探究活動」の場にもなるよう模索していきたい。